

平成17年度下半期

那珂市の財政事情

市では、市民の皆さんに財政状況をお知らせし、市政運営の状況をご理解いただくとともに、豊かで住みよいまちづくりに一層のご協力をお願いするため、毎年2回、財政事情を公表しています。

地方自治体では、4・5月の出納整理期間に収入・支出の整理ができるため、最終的な決算額は5月末日に確定します。そのため、今回は3月末現在における予算の執行状況や市有財産の現在高などについてお知らせします。なお、最終的な決算額については、「広報なか11月号」で掲載する予定です。

一般会計

一般会計は、市の基本的な経費を計上しています。一般会計の歳入歳出予算の執行状況は、予算現額合計に対する収入済額の割合が81・4%、支出済額の割合が80・3%で、ともに順調に執行されています。

歳入では、配当割交付金や株式等譲渡所得割交付金が予算額を超えて収入されています。これは、原資となる県民税配当割や株式等譲渡所得割の税収が堅調であったことによるものです。一方で、県支出金や市債の収入割合が低くなっていますが、これは、県支出金の交付や市債の借り入れが、事務手続きの都合で4月以降になるためです。なお、このほかの歳入科目についても、5月末日までには、予算現額とほぼ同額の収入が見込まれています。

歳出では、農林水産業費の支出割

合が65・9%と低くなっています。

これは、溜池整備など工事関係の支払い手続きの都合や農業集落排水整備事業特別会計への繰り出しが4月以降になるなどの理由によります。また、土木費の支出割合が51・0%と低くなっているのは、下水道事業

■一般会計歳入予算執行状況 単位：千円、%

| 歳入科目 | 予算現額 | 収入済額 | 収入割合 |
|-------------|------------|------------|--------|
| 市税 | 6,298,743 | 6,315,121 | 100.3 |
| 地方譲与税 | 542,906 | 546,336 | 100.6 |
| 利子割交付金 | 31,500 | 33,789 | 107.3 |
| 配当割交付金 | 8,000 | 16,266 | 203.3 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 1,000 | 23,660 | 2366.0 |
| 地方消費税交付金 | 429,680 | 429,680 | 100.0 |
| 自動車取得税交付金 | 150,592 | 150,592 | 100.0 |
| 地方特例交付金 | 185,495 | 185,495 | 100.0 |
| 地方交付税 | 3,818,469 | 3,935,535 | 103.1 |
| 交通安全対策特別交付金 | 8,500 | 8,963 | 105.4 |
| 分担金及び負担金 | 272,401 | 264,098 | 97.0 |
| 使用料及び手数料 | 198,235 | 204,247 | 103.0 |
| 国庫支出金 | 1,386,761 | 1,015,797 | 73.2 |
| 県支出金 | 1,616,494 | 405,513 | 25.1 |
| 財産収入 | 37,582 | 38,297 | 101.9 |
| 繰越金 | 684,552 | 684,553 | 100.0 |
| 諸収入 | 416,207 | 418,037 | 100.4 |
| 市債 | 1,806,700 | 52,700 | 2.9 |
| その他 | 206,636 | 1,303 | 0.6 |
| 合計 | 18,100,453 | 14,729,982 | 81.4 |

■一般会計歳出予算執行状況 単位：千円、%

| 歳出科目 | 予算現額 | 支出済額 | 支出割合 |
|--------|------------|------------|------|
| 議会費 | 308,120 | 304,350 | 98.8 |
| 総務費 | 2,244,874 | 1,973,165 | 87.9 |
| 民生費 | 3,833,630 | 2,880,209 | 75.1 |
| 衛生費 | 1,270,723 | 1,215,011 | 95.6 |
| 農林水産業費 | 883,271 | 582,277 | 65.9 |
| 商工費 | 148,311 | 137,377 | 92.6 |
| 土木費 | 2,872,211 | 1,463,558 | 51.0 |
| 消防費 | 1,019,265 | 951,992 | 93.4 |
| 教育費 | 3,367,077 | 2,913,927 | 86.5 |
| 公債費 | 2,134,789 | 2,110,974 | 98.9 |
| その他 | 18,182 | 2,732 | 15.0 |
| 合計 | 18,100,453 | 14,535,572 | 80.3 |

■特別会計歳入歳出予算執行状況 単位：千円、%

| 会計名 | 予算現額 | 収入済額 | 収入割合 | 支出済額 | 支出割合 |
|-----------------|------------|------------|-------|------------|------|
| 国民健康保険(事業勘定) | 4,682,152 | 4,304,850 | 91.9 | 4,190,455 | 89.5 |
| 老人保健 | 4,626,006 | 4,073,394 | 88.1 | 4,225,007 | 91.3 |
| 下水道事業 | 2,226,992 | 698,835 | 31.4 | 1,653,550 | 74.3 |
| 公園墓地事業 | 13,293 | 13,251 | 99.7 | 2,964 | 22.3 |
| 農業集落排水整備事業 | 371,486 | 72,007 | 19.4 | 333,092 | 89.7 |
| 介護保険(保険事業勘定) | 2,432,853 | 2,015,851 | 82.9 | 2,190,951 | 90.1 |
| 介護サービス事業 | 48,977 | 50,130 | 102.4 | 47,800 | 97.6 |
| 上菅谷駅前地区土地区画整理事業 | 419,900 | 72,582 | 17.3 | 265,109 | 63.1 |
| 合計 | 14,821,659 | 11,300,900 | 76.2 | 12,908,928 | 87.1 |

特別会計への繰り出しが4月以降になることに加え、道路改良舗装事業や瓜連駅南停車場線街路整備事業等を翌年度に繰り越したことなどの理由によります。なお、このほかの歳出科目の未払金についても、出納整理期間に支払われる予定です。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。特別会計の歳入歳出予算の執行状況は、予算現額合計に対する収入済額の割合が76・2%、支出済額の割合が87・1%で、例年並の状況となっています。

歳入では、下水道事業、農業集落

排水整備事業及び上菅谷駅前地区土地区画整理事業において、県支出金の交付や一般会計からの繰り入れ、市債の借り入れが4月以降になるなどの理由で収入割合が低くなっています。

歳出では、公園墓地事業において、一般会計への繰り出しが4月以降になるなどの理由により支出割合が低くなっています。また、下水道事業及び上菅谷駅前地区土地区画整

■市税負担の状況

| 税目 | 収入済額 (千円) | 1世帯あたりの 負担額 (円) | 1人あたりの 負担額 (円) |
|-------|--------------|--------------------|-------------------|
| 市民税 | 2,232,469 | 112,791 | 39,444 |
| 固定資産税 | 3,332,703 | 168,378 | 58,883 |
| 軽自動車税 | 93,049 | 4,701 | 1,644 |
| 市たばこ税 | 365,024 | 18,442 | 6,449 |
| 都市計画税 | 291,876 | 14,746 | 5,157 |
| 合計 | 6,315,121 | 319,058 | 111,577 |

※世帯数19,793世帯、人口56,599人(平成18年3月31日現在)

■市債現在高 (元金)

単位：千円

| 区分 | 平成17年 3月31日現在 | 増減 | 平成18年 3月31日現在 |
|-------------|------------------|----------|------------------|
| 総務債 | 743,301 | △85,393 | 657,908 |
| 民生債 | 250,595 | △40,646 | 209,949 |
| 衛生債 | 2,279,177 | △172,967 | 2,106,210 |
| 農林水産業債 | 366,898 | △19,981 | 346,917 |
| 商工債 | 38,680 | △26,260 | 12,420 |
| 土木債 | 2,696,708 | △274,837 | 2,421,871 |
| 都市計画債 | 2,160,364 | 2,998 | 2,163,362 |
| 公営住宅債 | 945,475 | △62,867 | 882,608 |
| 消防債 | 354,590 | △58,020 | 296,570 |
| 教育債 | 3,529,499 | △55,238 | 3,474,261 |
| 転貸債 | 1,119 | △536 | 583 |
| 減税補てん債 | 1,594,892 | △49,167 | 1,545,725 |
| 臨時税収補てん債 | 191,557 | △13,040 | 178,517 |
| 臨時財政対策債 | 2,250,700 | 628,560 | 2,879,260 |
| 県振興資金 | 72,478 | △13,585 | 58,893 |
| 小計 | 17,476,033 | △240,979 | 17,235,054 |
| 下水道事業債 | 10,739,340 | △90,337 | 10,649,003 |
| 農業集落排水整備事業債 | 3,358,050 | △66,647 | 3,291,403 |
| 土地区画整理事業債 | 163,900 | 129,800 | 293,700 |
| 水道事業債 | 2,691,707 | △288,663 | 2,403,044 |
| 合計 | 34,429,030 | △556,826 | 33,872,204 |

■市有財産現在高

| 区分 | 単位 | 平成17年 3月31日現在 | 増減 | 平成18年 3月31日現在 |
|---------|----|------------------|---------|------------------|
| 土地 | m | 1,601,726 | 9,008 | 1,610,734 |
| 建物 | m | 159,922 | 1,980 | 161,902 |
| 有価証券 | 千円 | 15,540 | | 15,540 |
| 出資による権利 | 千円 | 79,559 | 1,680 | 81,239 |
| 車両等 | 台 | 113 | △19 | 94 |
| 債権 | 千円 | 137,275 | △18,224 | 119,051 |
| 基金 | 千円 | 4,632,459 | 50,238 | 4,682,697 |

※水道事業会計分は含まない

■水道事業会計

単位：千円

| 区分 | 収入 | 支出 |
|-------|-----------|-----------|
| 収益的収支 | 1,160,646 | 1,044,874 |
| 資本的収支 | 115,135 | 669,658 |

理事業においては、工事や移転補償関係の支払いが4月以降になることに加え、事業を翌年度に繰り越したことなどの理由により、支出割合が低くなっています。

市税負担の状況

市の財政は、市民の皆さんの直接・間接の負担により賄われています。なかでも、市税は、財政運営上極めて重要な歳入であり、常に適正公平な賦課徴収に努めています。

平成18年3月31日現在における市税の収入済額は、63億1512万1000円で、1人あたり11万1577円を負担していただいたこととなります。

市債現在高

市債は、大規模な事業を実施する際、その年度の収入だけでは財源を調達することが困難な場合、国や民間の金融機関から借り入れる資金です。市債の活用により、その年度の財政に過度の負担をかけずに事業を実施することができ、また、将来にわたって市債の返済を行うことにより、世代間において公平な負担をすることができま。

平成17年4月から平成18年3月までに、図書館建設事業や二中学区コミュニティセンター建設事業、臨時財政対策債などに21億5890万円を新たに借り入れた一方で、27億

1572万6000円の元金を返済したことにより、平成18年3月31日の現在高は、338億7220万4000円となりました。

今後も、返済する元金の範囲内で市債を借り入れることにより、市債残高の抑制に努めます。

一時借入金

一時借入金は、会計年度中に一時的に収支の不均衡を生じ、歳計現金が不足した場合に、その資金の不足を補うために借り入れるもので、当該年度の歳入で返済します。

平成17年4月から平成18年3月までにおいて、一時借り入れは行いませんでした。

市有財産現在高

土地は、道路用地の取得などにより増加しています。

建物は、図書館の建設などにより増加しています。

出資による権利は、茨城県信用保証協会への寄託などにより増加しています。

債権は、高齢者住宅整備資金貸付金や老人保健施設整備資金貸付金の返済などにより減少しています。

基金は、コミュニティセンター等整備基金への積み立てなどにより増加しています。

水道事業会計

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。

収益的収支は、経常的な業務の収支を示すもので、主な収入は水道料金収入、支出は給水のための経費や人件費、減価償却費などです。収支状況は、黒字となっています。

また、資本的収支は、水道管の布設など建設改良費の収支を示すものです。収支状況は、赤字となっていますが、この不足分については、内部留保資金などで補うこととなります。

問い合わせ 財政課財政係

☎298・1111 内線522